



とびら

第43号
2025.8

おにぎりダンス



なかのとおにぎり THE フェス

目次

- 6月定例会議「中能登町ゼロカーボンシティ」宣言 …… 2-3
- 町政を問う 6月定例会議
- 唯一無二の魅力ある町づくりをなど9名登壇 …… 5-9
- こども家庭センターでインタビュー／編集後記 …… 12

過去の
議会だより



二次元コードを読み
取ってご利用下さい。



歳入歳出総額183億348万8千円

「中能登町ゼロカーボンシティ」を宣言!

令和7年6月5日に開会された6月定例会議の冒頭において、町長から「中能登町ゼロカーボンシティ」の宣言がなされました。2050年までに二酸化炭素排出を実質ゼロにすることを目指し、今後は太陽光発電の導入、LED照明、省エネ家電、電気自動車の普及に取り組んでいきます。

一般会計補正予算

二地域居住先導的プロジェクト

600万円

- ◎ どのような事業なのか。
- ▲ 国土交通省の事業。全国で26地域が採択。関係人口の構築、地元住民との意見交換会、ワークショップの開催を予定。



地方創生アドバイザー & 特産品PR,販売委託

527万円

- ◎ 詳しく説明を。
- ▲ 加工品についてのアドバイザーを任命し、中能登町の特産品に助言をもらう。都市部での特産品のPR,物販を民間委託する。



レクトピアパーク・運動公園 危険遊具撤去

485万円

- ◎ 撤去後の構想は。
- ▲ メディカルパークの構想がなくなりそのままの公園の状態を維持。遊具の設置は関係課と協議していく。



雨の宮古墳復旧

54万円

- ◎ どのくらい復旧にかかるのか。
- ▲ 今回は被災した古墳5基を養生シートで保護する。今年度は電気探査やレーダー探査を行い来年度以降工法検討を行い実施設計を行った後、令和10年度から5つの古墳を順次復旧していく。



6月1日から副町長就任! いけだ まさあき 池田 正明 氏

地震からの復旧・復興、町の発展のため、町や議会、関係者からの皆様のご意見をいただきながら、県での経験を生かして職務に励んでまいります。

採決の結果

○：賛成 ×：反対 退：退席 欠：欠席 除：除斥
議長は、採決には加わりません。※可否同数の場合は議長が採決

議案番号	議案	木下 智治	三浦 克欣	合田 宏	角 久子	澤 良一	古玉 いづみ	尾田 良一	土本 稔	笹川 広美	南 昭榮	甲部 昭夫	坂井 幸雄	結果 (賛成：反対)
5月随時会議 5月16日														
承認 第1号~5号	条例改正の専決処分の承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	欠	欠	承認 (9:0)
6月定例会議 6月5日~6月18日														
議案 第1号	中能登町水道事業布設工事監督者及び水道技術管理者の資格等に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	欠	可決 (10:0)
議案 第2号	令和7年度中能登町一般会計補正予算	○	○	○	○	×	○	×	○	○	—	○	欠	可決 (8:2)
議案 第3号~5号	特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	欠	可決 (10:0)
議案 第6号	中能登町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	欠	可決 (10:0)
議案 第7号	令和7年度中能登町一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	欠	可決 (10:0)
請願 第1号~2号	1脳脊髄液漏出症患者救済に関する請願書 2米国の関税措置に対応した中小企業等支援策の拡充を求める請願書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	欠	採択 (10:0)
発議 第1号	脳脊髄液漏出症患者救済に関する意見書(※1)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	欠	可決 (10:0)
発議 第2号	米国の関税措置に対応した中小企業等支援の拡充を求める意見書(※2)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	欠	可決 (10:0)

脳脊髄液漏出症患者救済に関する意見書(※1)
提出者:笹川 広美
交通事故等の後遺症である脳脊髄液漏出症に対し、自賠責保険で救済されるよう国に対し強く求める意見書。

米国の関税措置に対応した中小企業等支援の拡充を求める意見書(※2)
提出者:笹川 広美
米国の関税措置に関し、深刻な影響を受ける中小企業や小規模事業者に対し不安払拭のため手厚い対策、最新の情報発信を求める意見書。

提出された請願書は採決後、議会の意見書として国などに提出されます。

同意第1号 副町長の選任について
町長の補佐役として待望の副町長に池田 正明氏が就任。

同意第2号 教育委員会委員の任命
駒井 奈美 氏
諮問第1号、2号 人権擁護委員候補者推薦
近江 勝之 氏 丹後 敏明 氏

■ 討論

提出された議案に対して、議員が賛成・反対の意思をあらわして、議案の成立の可否が決定します。



反対

高額な修繕工事に疑問を抱く

議案第2号「令和7年度中能登町一般会計補正予算」に反対する。カルチャーセンター飛翔の空調設備に1,556万円をそのまま投じることの緊急性には、強い疑問を抱かざるを得ない。この施設は、今後数か月のうちに“解体”という重大な選択がなされる可能性も指摘されており、拙速な修繕は無駄な公費支出となる懸念が極めて高いと言える。今、本当に求められているのは、高額な修繕工事ではなく、施設の将来像を明確に示すこと。そして、町民に対して、その方向性について誠実かつ丁寧に説明することである。

澤 議員

中能登消防署に水槽付消防ポンプ自動車が配備

令和6年度の予算計上されていた水槽付消防ポンプ車が中能登消防署に配備されました。

この配備は能登半島地震で輪島での火災の消火活動が難航した教訓からであり、消火栓が使用できない状況でも即座に放水が可能となり迅速な初期消火により被害を最小限に抑えることができます。



子育て世代のママさんにインタビュー



しんたに さき
新谷 咲 さん

私は今、会社員として働きながら、二人の子どもを育てています。子どもの成長に喜びを感じる毎日であり、私自身もさまざまな経験を通じて、楽しく充実した日々を送っています。

私は中能登町で育ちましたが、今では昔のように家の近所や自然の中で遊ぶことが難しくなっていると感じます。そこで、年代を問わず多くの人が集まれる複合商業施設が中能登町にできたらいいなと思っています。体を動かしたり、食事をしたり、ゆっくりと会話を楽しめる場所があれば、町民同士の交流も自然と生まれ、子育てのしやすい町づくりにつながるのではないのでしょうか。

また、今年の秋には念願の町祭が開催されると聞き、とても楽しみにしています。子どもたちの笑顔が町中にあふれることを願っています。



題字 桜鱗氏（中能登町在住書家）

一般質問

二次元コードを読み取ってご利用ください。

6月13日午前



6月13日午後



6月16日午前



6月16日午後



一般質問に9人が登壇しました

古玉 いづみ 議員 …… 5P

- ・町づくり
唯一無二の魅力ある町づくりを
- ・デジタル教育
デジタル教育の推進を

澤 良一 議員 …… 5P

- ・人材育成
人材育成の改革を
- ・受諾事業
プロポーサル制度に構造的課題は

尾田 良一 議員 …… 6P

- ・差別的言動
差別的言動の苦情処理制度を

木下 智治 議員 …… 6P

- ・河川災害対策
対策と今後の強化策は
- ・農業施策
将来的なビジョンを示すべき

土本 稔 議員 …… 7P

- ・物価高対策
物価高対策を実施せよ
- ・温浴施設
民間事業者への打診の状況は

角 久子 議員 …… 7P

- ・乳幼児・健診
乳幼児健診の現状は

合田 宏 議員 …… 8P

- ・子ども食堂運営支援
開業支援で地域おこし協力隊を
- ・補助金の見直し
創業補助金制度の見直しを

三浦 克欣 議員 …… 8P

- ・ふるさと納税
ふるさと納税強化で稼ぐ自治体目指せ
- ・町おこし
おにぎり町で町の活性化を

笹川 広美 議員 …… 9P

- ・女性支援
女性の生きづらさへの対策を



こたま
古玉いづみ 議員

町づくり

問 唯一無二の魅力ある町づくりを 答三ツ星クラスの町にしたい

Q 町のファンを増やしていくために、まち・ひと・しごと魅力発信が不可欠である。唯一無二の町づくりの展望は。

A 関係人口を増やすために二地域居住を推進していく。若者世代を含めた町出身者が中能登町で活躍できる下地を作ることで関係人口増加、定住促進に繋げたい。

Q 二拠点居住をしていく上でどういった仕事を想定しているのか。

A 今まで日本になかった取り組みの企業誘致を考えている。

Q 体験型農業を売りにしてみては。
A 都市圏からきて子どもたちが農業、ファームで遊びながら生活体験できるようなことを実現できればいいと考える。

デジタル教育

問 デジタル教育の推進を 答 積極的に推進していく

Q デジタル社会を生き抜く創造力をはぐくむだけでなく、地元愛を根底にデジタルとリアルハイブリッドとしての次世代教育に期待するが教育長の想いは。

A 技能を習得するだけではなく、メデアリテラシーを養うことが主眼であり、トラブルに巻き込まれないよう適切な利用ができる知識を身に着けることを最優先とし、積極的にデジタル教育を推進していきたい。

Q プログラミング教育や新しくスタートする取り組みに対して丁寧な説明を。

A しつかりと発信し便利さを伝えていく必要がある。基本を理解しそれを構築していく知識を持ちながら、保護者と同時に学べるようなハイブリッドな教育を進めていきたい。

議員のひと言

懸念点にしつかりと対処しメリツトが上回るような次世代教育の選択を。



さわ
澤 良一 議員

人材育成

問 人材育成の改革を 答 実態を理解し改善を図る

Q 町の未来を切り拓く鍵は、職員力にある。評価と育成を行政経営の中核に据えた改革を今こそ進めるべきと思うか。

A 職員の育成と評価が組織の活力を左右する重要な要素と実感している。まずは、制度の実態と職員の課題認識を把握し、「職員の成長につながる仕組み」として運用できるように改善を検討する。

議員のひと言

有言実行！大いに期待します！



受託事業

問 プロポーザル制度の構造的課題は 答 制度自体に欠陥はなく、 運用や事業者管理が課題

Q 保育園調理の受託業者共立ソリューションズの重大インシデント（異物混入の可能性）に危機管理と現場対応に問題はなかったか。

A 現場で異物はみつからず、体調異常もなかった。再発防止として器具買換えや点検徹底の指示をだした。

Q 仕様書に明記された業務の一部（炊飯）の外注委託は契約違反にあたり衛生面でも担保が不十分では。

A 県の給食会の紹介で外注先が決定された。再委託禁止の記載なし。

Q 給食調理業務の仕様書に「除草」「除雪」の記述があるが業務との整合性はあるか。

A 調理後に勤務時間として対応しているのでは。

Q プロポーザル制度に構造的課題はないか。

A 契約後のモニタリングや検証の不十分さについては、町としてもチェック体制の強化を図る必要がある。

議員のひと言

プロポーザル制度の運用には透明性に重大な問題がある。今回の重大インシデント、町の責任も大きい。特に町の法令順守意識は低く看過できない危機的状況。町長は、現実を直視し、自らの責任で速やかに監査を要請すべき。



尾田 良一 議員

差別的言動

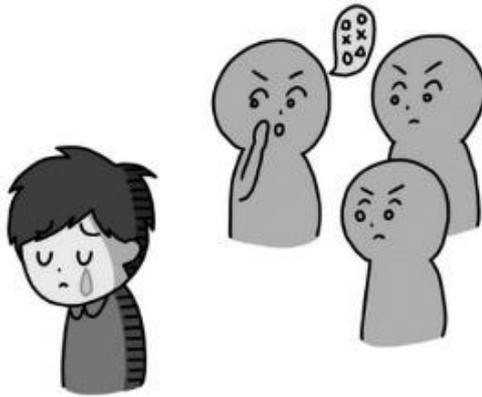
差別的言動の苦情処理制度を

答 人権尊重の理念の理解が必要

Q 町長は当町に差別的言動に関する事象は存在すると考えるのか。欧米ではこういった事象に関しては我々日本人が想像しうる以上に過敏である。「I have a dream」のマーチンルーサーキングジュニア氏による公民権運動などはその代表的なものだ。その所を踏まえてきく。

A 差別的言動は人権尊重の為に、決して許すことのできないことだ。まず一人一人が人権尊重の理念を理解することが重要だ。今言われた差別ということが実際におこなわれているかどうかは耳に入っていない。お互いにコミュニケーションを取りながら話し合いをしていければよいのではないか。

議員のひと言
どうもなかなかハードルが高そう
だ。



木下 智治 議員

河川災害対策

河川災害対策

河川災害対策

Q 町が管理する普通河川の維持管理状況及び、能登半島地震後の河川構造物の影響はあったのか。

A 毎週行う道路パトロール時に河川の状況確認も実施している。地震による小さな被害があり、順次修繕工事を実施している。

Q 治水事業の推進と今後の計画は。

A 土砂災害特別計画区域の解消に向けて砂防堰堤工事を進める。二宮川・長曾川流域の関係機関が一体となった流域治水プロジェクトによる対策に取り組んでいる。

Q 町民への情報伝達手段と防災意識向上についてきく。

A 防災行政無線や音声告知端末、SNSなどで情報発信。各地区で

防災訓練を実施している。避難の初動体制について、要支援者の避難計画も作成する。

農業施策

農業施策

農業施策

Q 後継者対策の具体策を問う

A 50歳未満の新規就農者に対し、国の事業を活用して補助金が交付される。

Q 耕作放棄地の解消や有効活用案はあるのか。

A 地域計画を作成し、地域の中心となる担い手を決め、農地集約化や整備等を行う。

議員のひと言
選択と集中をして、確実に未来への種まきを！





つちもと みのり 議員
土本 稔

物価高対策

問物価高対策を実施せよ

答LED化支援を精査中である

◎3月定例会で、臨時交付金の残額を有効活用して、効果的な事業を展開したいとの答弁だったが、その後の対策事業は。

▲今年度において、物価高騰対策臨時交付金が閣議決定され、当町へ1,073万円の通知があった。昨年度の繰越額およそ2,600万円をあわせ、今年度実施する事業を現在精査中である。

◎3月から検討しているが、具体的な対策があるか。

▲カーボンニュートラルのLED化で多方向での支援ができないかを精査している最中。

議員の一言

物価高に対して少しでも全町民の暮らしに寄り添う姿勢を。

温浴施設

問民間事業者への

打診の状況は

答活用も含めた検討をする

◎震災を経験し、民間事業者が新たに建設し運営するとは考えにくい。温浴施設をどう位置づけるか。宝達志水町長選挙が行われている中3月に閉館した「古墳の湯」施設の整備や活用が注目される。温浴施設はともに関心のある施設であるがその後の状況は。

▲復旧・復興の状況を見定めながら、新たな設置の可能性を含め、民間の力を活用することも検討をする。

◎天平の里の再開は難しいが、今後の施設の運用は。

▲未耐震であり、大きな被害を受けた施設である。詳しく調査した結果、当初見積額以上の修理費用が必要。いずれは壊すつもりである。

その他の質問

▼基本構想

▼総合型地域スポーツクラブ創設



かど 角 ひさこ 議員

乳幼児健診

問乳幼児健診の現状は

答全児受診している

◎令和5年度の3歳児健診の受診率が低い理由は。

▲年度ごとの報告であり、受診率が低く見えるが、全員受診している。

◎就学時健診と国が支援強化に乗り出した5歳児健診の違いは。

▲就学時健診は児童の心身の状況を把握するため、町教育委員会が実施する健康診断で、5歳児健診は言語の理解能力や社会性が高まり、発達障害が認知される時期で、対象は年中児全員。主に、集団生活を営む上で、必要な社会性の発達や自己統制など行動面の発達をみる。又、今後、町として相談事業から集団健診へと拡充していきたい。

◎歯科口腔保健の推進については。



▲医学的見地からの説明や指導を行っている。更に虫歯になりにくい歯をつくるため、フッ化物による虫歯予防について指導。3歳児健診で虫歯の割合が多い状況だったが、令和5年度の14.6%から令和6年7.6%と減少している。これはフッ化物歯面塗布の成果と分析。令和7年度から小・中学校でも実施する。

議員の一言

全ての受診で、親も子も安心!!

その他の質問

▼児童館の環境整備の充実



議員 廣田 宏 議員

子ども食堂運営支援

問開業支援で地域おこし協力隊を

活用を

子ども食堂や子どもの居場所づくりなどを、地域おこし協力隊の採用により各地域で開設支援を行うことを提案する。

子ども食堂の立上げには、地域作りの熱い思いから子どもたち、地域のために意欲のある方が中心になることが必要であり、地域おこし協力隊は地域外から当町に移住しその業務をなすわいと定住することを期待するものであり、地域おこし協力隊を採用することは考えていない。

議員のひと言
勝山市の地域おこし協力隊の活動を参考にすれば解決できると思うが。

補助金の見直し

問創業補助金制度の見直しを

答魅力的な施策を展開していく

創業支援制度の見直しについて以下5点で書く。

- ①創業補助金の対象者に法人を加えること。
- ②対象経費に営業車両を含めること。
- ③補助金の上限を最大300万円程度にすること。
- ④年齢制限の緩和。
- ⑤配偶者の所得制限を廃止するなど見直しを考えないか。

①、②、⑤についてはその方向で検討してる。

③については現行200万円から、補助上限を300万円に引上げ4分の3の割合に変更し、上限金額250万円基本に、若者加算、移住者加算それぞれ25万円の町独自の追加加算支援を設けた内容で検討する。

④については定年退職の年齢も引き上がっている情勢から変更を検討する。

その他の質問

▼アンダーツーリズムの推進を



議員 村浦 克欣 議員

ふるさと納税

問ふるさと納税強化で

稼ぐ自治体目指せ

答特産品の魅力アップを強化する

コストカット型の財政から「稼ぐ自治体」を目指し、ふるさと納税の強化をはかつてはどうか。

特産品の魅力アップ強化策を粘り強く進めながら、中能登ファンを獲得し、ふるさと納税アップにつなげていきたい。

ふるさと納税額の大幅な増額に成功している自治体から手法を学び、本腰を入れて取り組んでは。

職員だけでは町の魅力を発信しきれず、今後は地元農家や民間各種団体とも連携した商品づくりや町の魅力を発信する人材の確保を進めていく。

議員のひと言

やり方次第で、現在の何倍も成果（納税額アップ）を挙げられると

思うので「あつたらいいな」の実現のためぜひTTPで頑張っていたきたい。

町おこし

問おにぎりで町の活性化を

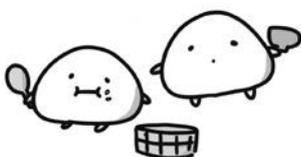
答おにぎりで稼げる町を目指す

町内におにぎりのシンボリックなものを設置しては。

町民の心におにぎりが浸透するようなシンボルを道の駅やチャノバタケ遺跡等で発信する方法を検討していく。

おにぎりによる米の消費拡大を図り、経済の活性化を目指しては。

おにぎりやお米を利用した六次産業化の事業において、専門家や民間と連携した特産品開発のための予算も計上した。



おにぎり新キャラクター「吾輩はおにぎりである。具材はまだない。」

その他の質問

▼子育て世代の支援策を

▼防災訓練の具体案は



ささかわ ひろみ 議員
笹川 広美

女性支援

困り女性の生きづらさへの対策を

答的確な対応を推進したい

◎安心して搾乳できる場所の設置、「搾乳マーク」掲示を推進せよ。

▲取り組みたい。

◎震災を経験した今こそ、人権や多様性を尊重し、ジェンダー平等、幸福なども含む「包括的性教育」を広く啓発せよ。

▲イベントや防災訓練等で啓発したい。

◎「トイレトレーラー」を導入し、安全安心を確保せよ。

▲避難体制整備の全体計画の中で考えていく。

◎女性防災士による活動体制を整備し、女性視点の防災対策を着実に推進せよ。

▲町防災士会の中で組織構築して頂きたい。行政もバックアップする。

◎地方防災会議の女性委員30%以上への対応をきく。

▲町の女性委員は16名中3名であり、19%の現状。委員は諸団体の代表者で構成するため、各団体へは女性参画への協力をお願いしていきたい。

議員のひと言

平時から、女性が抱える困難への対処を図ることが、災害時の女性支援につながる。町民の皆さんと一緒に、誰もが安心できるまちづくりへ進展できることを願う。

その他の質問

▼物価高騰対策

▼投票環境の整備



授乳室で搾乳できることを示すシンボルマーク

町民の皆さまの生きた声を!

～議会行革・活性化特別委員会～

7月10日(木)開催

今回、「議会報告会のあり方について」をテーマに委員間で意見交換をしました。

これまで地区ごとに要望に応えるという方法で開催してきました。(コロナ期間未実施)より多くの町民の生の声をお聞きしたいということから、ワールドカフェ方式で、という意見がまとまり、今年3月子育て世代の方々と懇談会を開催しました。様々な意見、要望をいただき今後の活動の参考となりました。今後も同様の形式で多くの意見・要望をお聞きしていくこととします。さらに、政策提言につなげていくよう取り組んでいくことが確認されました。

また、議員のなり手不足解消を次回の委員会で話し合うこととしました。

(委員長 三浦)



令和7年3月5日(水) 議員と子育て世代の皆さんとの懇談会

分譲宅地が販売開始されました

(令和7年7月末販売受付は1件)

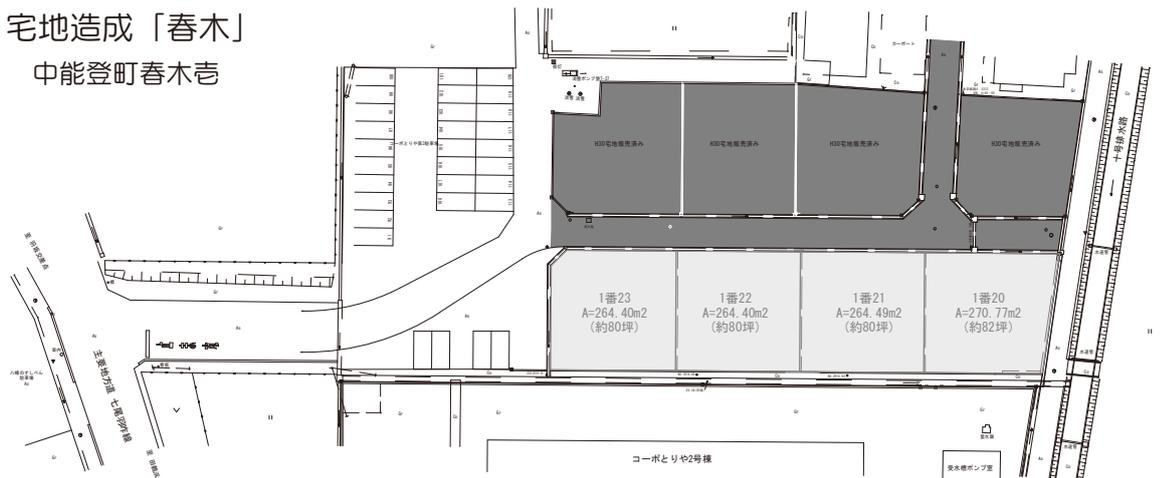
分譲宅地名「春木」 分譲宅地販売単価
18,000円/㎡ (約59,400円/坪)

分譲宅地造成経費 販売面積
 $25,602,830 \div 1,064.06\text{㎡} = 24,061.5\text{円}/\text{㎡}$
→18,000円/㎡

* 近傍市町の販売価格及び「上布の里」販売価格も考慮した単価で決定

分譲宅地販売区画数 4区画 (約80坪)

宅地造成「春木」
中能登町春木寺



詳しくはこちら

町内温浴施設を委員会で視察

教育民生常任委員会

5月15日(木)開催の教育民生常任委員会で温浴施設を視察しました。中能登町には旧3町に1か所ずつの温浴施設が設置されています。老人福祉センター「ゆうゆう」と「天平の里」では老人の健康増進や教養の向上、健康ハウス「憩」では町民の健康増進、福祉の向上を目的としてきました。施設が設置されてから天平の里は40年、ゆうゆうは30年が経過していること、人口減少に伴う利用者減少、そしてこの度の震災での漏水や故障など被害も甚大なうえ施設の老朽化から更新が必要な箇所も多数あるというのが現状です。



天平の里

令和7年7月現在、健康ハウス「憩」のみが稼働中であり、町民の利便性向上を考え、道の駅織姫の里から「ゆうゆう」を經由し健康ハウス「憩」への無料バスの運行もスタートしました。今後は公共施設の最適化を進めていく、という町の取り組み状況を委員会でも注視していきます。

ひきこもりについての勉強会

7月15日(火)にNPO法人はあとびあ21の理事長高和正純氏^{たかまさはるみ}をお招きし、ひきこもりの現状について勉強会を開催しました。15歳から64歳までのひきこもりは全国で146万人(2022年11月内閣府調査)にのぼり深刻な社会問題となっています。しかし当事者に対して支援法が未整備で、様々な制度の狭間にあり当事者は不利益を被っているうえ、一般的に理解されにくいのが現状で、いじめのトラウマから人生が一変した方も数多く含まれているようです。県内11議会と石川県議会で意見書の採択がされており、当委員会でも引き続き町内の現状把握をおこなっていき一人でも多くの方へ支援が行き届くよう働きかけていきます。

議会からのお知らせ

9月定例会議の日程

月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5 午前10:00 議案上程 提案理由説明 質疑など	6	7
8 午前10:00 教育民生 常任委員会 午後1:30 総務建設 常任委員会	9 午前10:00 予算決算 常任委員会	10 午前10:00 予算決算 常任委員会	11 午前10:00 予算決算 常任委員会	12 午前10:00 予算決算 常任委員会	13	14
15	16	17	18 午前10:00 一般質問	19 午前10:00 一般質問 (予備日)	20	21
22	23	24 午後1:30 全員協議会 午後3:00 委員長報告 質疑・討論・採決	25	26	27	28
29	30					

みなさんの傍聴を
お待ちしております。



定例会議はケーブルテレビ「なかのとチャンネル」で中継します。

5月から7月までの議会活動

さまざまな会議の開催日をお知らせします。
議会の日程はホームページでもご確認いただけます。

定例会議	6月5日、13日、16日、18日
随時会議	5月16日、7月31日
議会運営委員会	5月9日、5月30日、 6月18日、7月18日
総務建設常 任委員会	5月15日、6月6日、7月15日
教育民生 常任委員会	5月15日、6月6日、7月15日
予算決算 常任委員会	6月9日
全員協議会	5月16日、5月30日、 6月18日、7月31日
議会行革・活性 化特別委員会	7月10日
議会広報 特別委員会	6月23日



二次元コードを読み取って
ご利用ください。

ようこそ中能登町議会へ

令和7年7月29日(火)に中能登町議会へ滋賀県東近江市議会
から視察に訪れていただきました。

★ 滋賀県東近江市議会

- ・ 令和6年能登半島地震における
被害の現状と対応について



より読みたい!と思える『とびら』を目指して

7月30日(水)、石川県町村議会広報研修が行われ、広報
サポーター芳野政明氏による、伝わる議会だよりを目指し
て、『議会の「見える化」&住民との「信頼を築く」』と題
して講義を拝聴。全国の議会だよりを参考に、議会広報の基
本と編集に関しての重点ポイントを確認しました。読まれる
議会だよりとして何をどう伝えるか、内容を精査し記事を読
み込む。まずは心を掴む見出しで引きつけたいです。午後か
らの広報クリニックでは、我が町の議会だより「とびら」を見て、レイアウトや見出しなどま
ずまずの評価を頂きました。今後更に読みたくなる議会だよりを目指すため皆様のお声をお聞
かせいただき、一人でも多くの方に手をとって読んでもらえるよう広報委員一同頑張っ
ていきます。





こども家庭センターでママパパにインタビュー!

令和6年4月に中能登町役場行政サービス庁舎1Fに開所したこども家庭センター。妊娠前から子育て期の皆さんを対象に様々な相談窓口を開設して延べ1300人を超える方にご利用いただいています。

今回は「ママとパパの休み時間」に来ていた乳幼児を育児中のママパパにお話を聞いてきました。



↑こども家庭センターについてはこちら



池上夏代さん
うたちゃん
(2カ月)



上の子の時から通っています。今日も情報交換ができてよかったです!



気軽に悩みや近況を分かち合えるので週1以上通っています。



青野成美さん
あさひくん
(1歳1カ月)

丹後和磨さん
育子さん
みひろくん
みはるくん
(3カ月)



今は育休中(パパ)で上の子の時からよく参加しています。3,4番目で人手が足りなく、来月から子育て世帯訪問支援事業を利用させていただきます。



ここに来れば誰かいるので良く利用させてもらっています。土日祝日なども利用できるともったいな。



山本直子さん
かりんちゃん
(6カ月)

山森万里子さん
ゆうしょうくん
(11カ月)



「ママとパパの休み時間」は大人だけの時間で共有できる悩みや困りごとでアドバイスがもらえるので来るのが楽しみです!



編集後記

6月8日にはラピア鹿島で「なかのとおにぎり THE フェス」が盛大に開催され多くの来場者で賑わいました。表紙の子どもたちの笑顔が何よりの証拠ですね! この活気あふれるイベントを成功に導いてくださった関係者の皆様に、深く感謝いたします。

祭りには、地域を一つにし、人々の心に温かい火を灯す不思議な力があります。幼い頃に体験した祭りは、大人になった今も私の心を躍らせます。今回のおにぎりフェスもまた、中能登町の新たな思い出として、多くの人々の心に深く刻まれたことでしょうか。議会だよりを通じて、町の温かさや議会の取り組みをこれからもお伝えできるように、広報委員一同努めてまいります。

木下 智治

【議会広報特別委員会】

- 委員長 古玉いづみ
- 副委員長 合田 宏
- 委員 尾田 良一
- 角 久子
- 三浦 克欣
- 木下 智治